

VE-8は、**ボーカル・エフェクト／ギター・エフェクト／ルーパー／ミキサー機能**が一体になった、弾き語りボーカリストのためのオール・イン・ワン機器です。

ギター・エフェクト

P.8

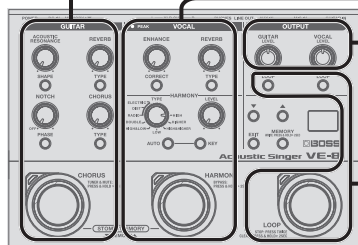
アコースティック・ギターのボディの響きを調節するアコースティック・レゾナンス。ホールで演奏しているような残響を加えるリバーブ。ハウリングを押さえるノッチ。コーラスをはじめとしたさまざまなエフェクト（トレモロ、フェーザー、ディレイなど）をかけることができます。

ボーカル・エフェクト

P.10

ギターの演奏に合わせて、自動でボーカルにハーモニーを追加する（ハモる）ことができます。

また、声の輪郭をはっきりさせるエンハンス。ピッチのばらつきを補正するピッチ・コレクト。ホールで演奏しているような残響を加えるリバーブ。エレクトリック・ボイスやラジオ・ボイスなどのエフェクトもかけることができます。

**アウトプット（ミキサー）**

P.2

ボーカル／ギターの出力バランスを、簡単に調節できます。

ルーパー

P.12

ボーカル／ギターを個別に録音して、ループ・パフォーマンスができます。

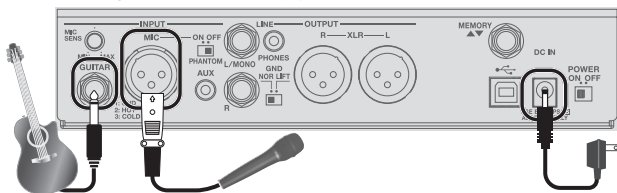
目次

セットアップ（マイクとギターをつなぐ）	2	ボーカル・エフェクトの設定	10
機器の接続	3	ENHANCE（エンハンス）	10
アンプ／簡易 PA につなぐ		REVERB（リバーブ）	10
（ストリート／カフェ・ライブ）	3	HARMONY（ハーモニー）	10
PA にボーカル／ギターを個別に出力する		サブ・パラメーターの設定	11
（ライブハウス）	4	ボーカルのバイパス	11
アウトプットの設定	5	複数のエフェクトを同時使用する	11
パソコンやヘッドホンをつなぐ（自宅／スタジオ）	6	ルーパー	12
フットスイッチをつなぐ	6	進んだ使いかた	13
マニュアル／メモリー・モード	7	工場出荷時の状態に戻す（ファクトリー・リセット）	13
マニュアル・モード	7	システム設定	13
メモリー・モード	7	外部フットスイッチの設定	13
メモリーの保存	7	ペダルの設定	13
メモリーの初期化	7	MEMORY ペダルのホールド設定	13
ギター・エフェクトの設定	8	ルーパーの設定	13
ACOUSTIC RESONANCE		NOTCH / PHASE 設定	13
（アコースティック・レゾナンス）	8	スタートアップ・モード	13
REVERB（リバーブ）	8	オート・オフの設定	14
NOTCH（ノッチ）	8	ストップ・ペダルの設定	14
CHORUS（コーラス）	8	EQ / ノイズ・サプレッサーの設定	14
ギターをチューニングする（チューナー）	8	資料	15
サブ・パラメーターの設定	9	主な仕様	15
ディレイ・タイムの設定（タップ・テンポ）	9	安全上のご注意	15
複数のエフェクトを同時使用する	9	使用上のご注意	15
		エラー・メッセージ	16
		トラブルシューティング	16

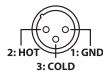
セットアップ（マイクとギターをつなぐ）

1. 付属の AC アダプターをつなぎます、または電池を入れます（単 3 電池 6 本）。

2. マイクとギターをつなぎます。

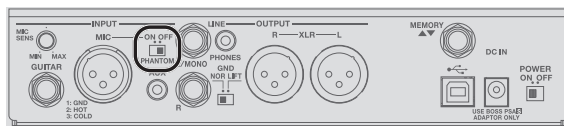


※ MIC 端子（バランス・タイプ）のピン配列



ファンタム電源の設定

ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを使用する場合は、[PHANTOM] スイッチを ON にしてください。



ファンタム電源供給の必要なコンデンサー・マイクをつないだとき以外は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。



3. アンプや PA につなぎます。

アンプ／簡易 PA につなぐ
（ストリート／カフェ・ライブ）



P.3

PA にボーカル／ギターを個別に出力する（ライブハウス）



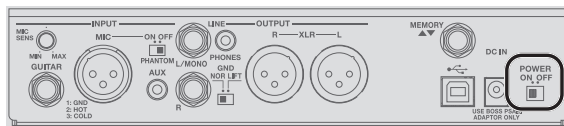
P.4

パソコンやヘッドホンをつなぐ
（自宅／スタジオ）



P.6

4. 電源を ON にします。



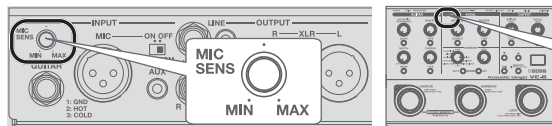
出力機器（ミキサーやアンプなど）の入力ゲインやボリュームが下がっていることを確認してから接続し、電源を入れてください。

手順を間違えると、誤動作やスピーカーなどを破損する恐れがあります。

5. マイク感を調節します。

マイク感度は必ず正しく設定してください！

[MIC SENS] つまみでマイク感を調節してください。最大入力時に PEAK ランプがオレンジ色に点灯する程度に調節します。入力レベルが大きすぎる場合は、PEAK ランプが赤色に点灯します。



PEAK	色	入力レベル
	緑	小
	オレンジ	適切（良）
	赤	大きすぎる（悪）

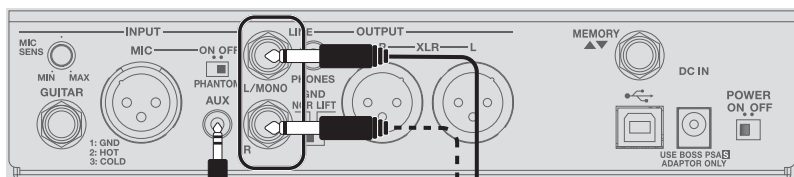
6. ボーカルとギターの出力レベルを調節します。



機器の接続

アンプ／簡易 PA につなぐ（ストリート／カフェ・ライブ）

アンプにつなぐ場合



オーディオ・プレーヤーにつなぐ場合



オーディオ・プレーヤーをつなげば、弾き語りのバック
キングなどをミックスして鳴らすことができます。

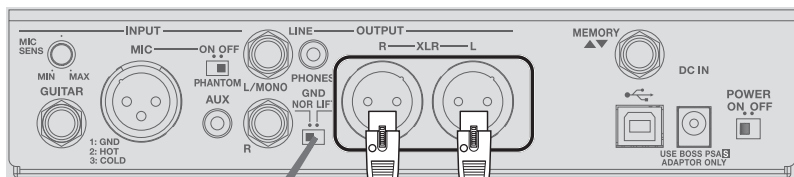
※ 音量は、つないだ機器（オーディオ・プレーヤー）
で調節してください。

ボーカル + ギター

ステレオで接続する場合



簡易 PA につなぐ場合



ボーカル + ギター（ステレオ）

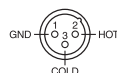


「ブーン」というループ・ハム・ノイズが発生する場合

本機を外部機器と接続して使用すると「ブーン」というループ・ハム・ノイズが発生することがあります。その場合、[GND] スイ
ッチを切り替えることで症状を軽減できることがあります。通常は NOR (NORMAL) に設定しておきます。

スイッチ	説明
NOR	XLR コネクターの 1 番端子が本機の GND と接続されます。
LIFT	XLR コネクターの 1 番端子が本機の GND と切り離されます。

※ OUTPUT 端子（バランス・
タイプ）のピン配列



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

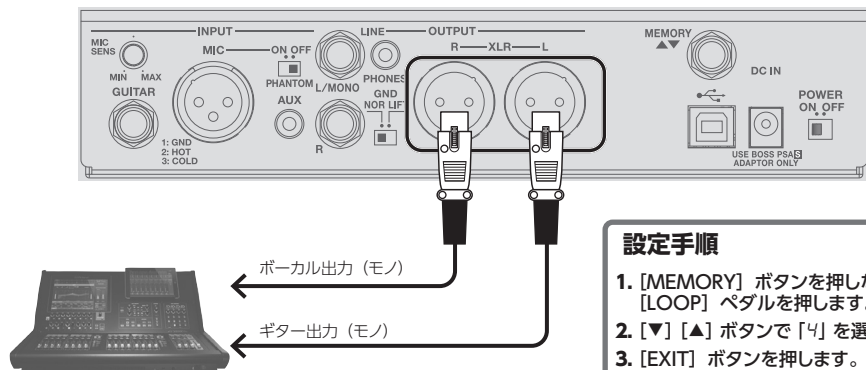
Español

Português

Nederlands

PA にボーカル／ギターを個別に出力する（ライブハウス）

PA にボーカル／ギターを個別に出力する場合

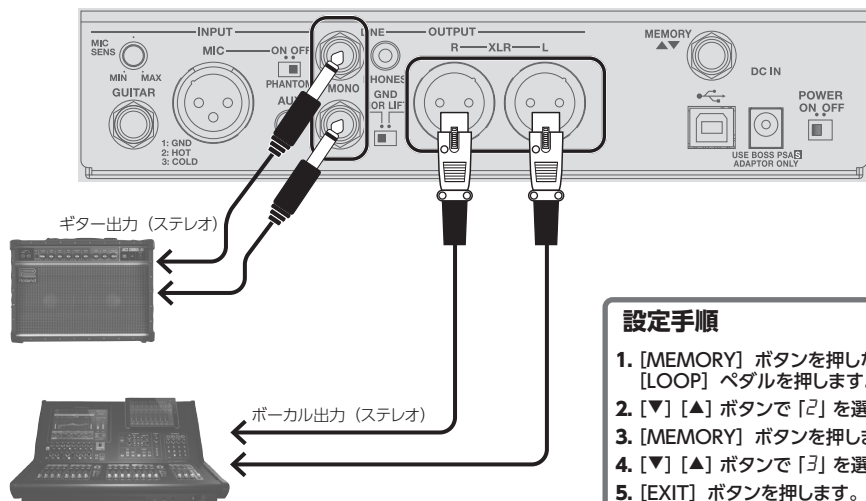


設定手順

1. [MEMORY] ボタンを押しながら [LOOP] ペダルを押します。
2. [▼] [▲] ボタンで「4」を選びます。
3. [EXIT] ボタンを押します。

詳しくは **P.5**

PA にボーカル、ギター・アンプにギター音を出力する場合



設定手順

1. [MEMORY] ボタンを押しながら [LOOP] ペダルを押します。
2. [▼] [▲] ボタンで「2」を選びます。
3. [MEMORY] ボタンを押します。
4. [▼] [▲] ボタンで「3」を選びます。
5. [EXIT] ボタンを押します。

詳しくは **P.5**

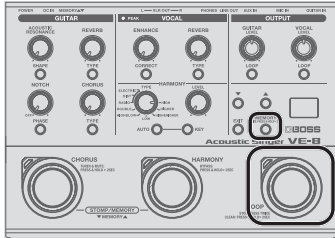
アウトプットの設定

XLR、LINE 端子から出力する音を選びます。初期値ではボーカルとギターの音がミックスされますが、端子ごとにボーカルとギターの音を個別に出力することもできます。



1. [MEMORY] ボタンを押しながら [LOOP] ペダルを押します。

[MEMORY] ボタンと [LOOP] ペダルが赤色に点灯し、アウトプット設定モードになります。



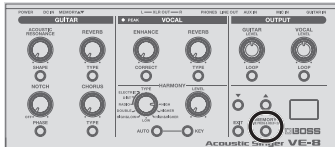
2. [MEMORY] ボタンを押して、設定するパラメーター(端子)を選びます。

ボタンを押すたびに、以下のように切り替わります。

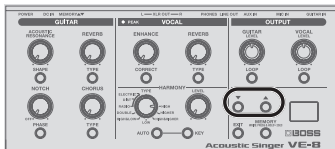
[HL] (XLR 端子) → [L I] (LINE 端子) → [R U] (AUX 端子) → [P h] (PHONES 端子) → [u S] (USB)

メモ

[EXIT] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押すと前のパラメーターに戻ることができます。



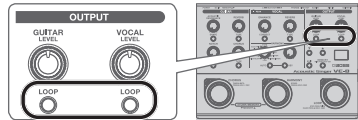
3. [▼] [▲] ボタンで、値を選びます。



パラメーター	値	説明
HL (XLR 端子) L I (LINE 端子)		XLR、LINE 端子から出力する音を選びます。
	1	ボーカル + ギター (ステレオ) (初期値)
	2	ボーカル (ステレオ)
	3	ギター (ステレオ)
	4	L: ギター (モノ) R: ボーカル (モノ)
	5	L: ボーカル (エフェクト) R: ボーカル (ドライ)
	6	L: ギター (エフェクト) R: ギター (ドライ)
	7	ボーカル + ギター (モノ)
	8	ボーカル (モノ)
	9	ギター (モノ)
R u (AUX 端子)		AUX 端子から入力した音の出力先を選びます。
	1	ALL (すべての端子) (初期値)
	2	LINE+PHONES 端子
P h (PHONES 端子)		PHONES 端子の音量を設定します。
	0 ~ 99	(初期値: 50)
u S (USB ダイレクト・アウト)		VE-8 の音を XLR、LINE 端子から出力するかどうかを設定します。 → USB について詳しくは「USB について」(P.6) 参照。
	0	VE-8 の音を XLR、LINE 端子から出力されず、パソコン (USB) にのみ出力されます。
	1	VE-8 の音を DAW でプラグイン・エフェクトなどをかけて、アウトプット端子から出力したいときに使用します。
		VE-8 の音が XLR、LINE 端子から出力されます (初期値)。

リバーブを PA に送りたい場合

[HL] (XLR 端子)、[L I] (LINE 端子) 選択時にギターとボーカルの [LOOP] ボタンを押して点滅させると、XLR、LINE 端子からリバーブを出力しなくなります。「ライブの現場で PA のリバーブを使用する」という場合に設定してください。



4. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。



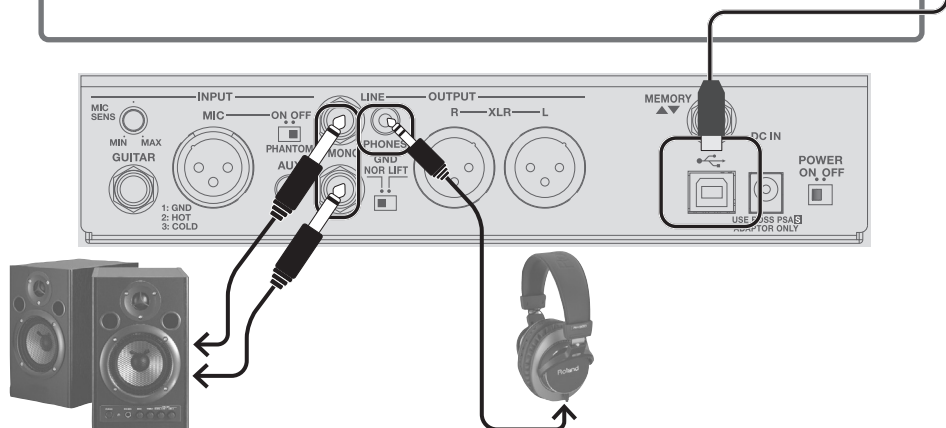
パソコンやヘッドホンをつなぐ（自宅／スタジオ）

USB について

VE-8 を市販の USB2.0 ケーブルでパソコンに接続すると、VE-8 の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を VE-8 のアウトプット端子から出力したりすることができます。

※ パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

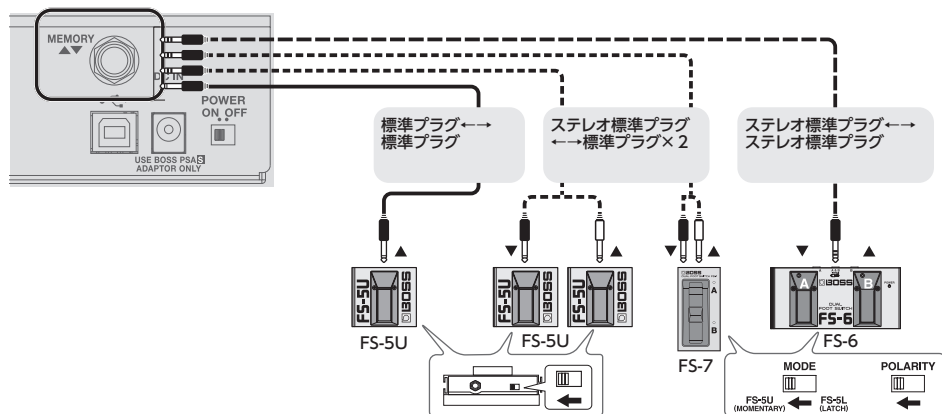
→ <https://www.boss.info/jp/support/>



フットスイッチをつなぐ

MEMORY▲▼ 端子に、フットスイッチ（FS-5U、FS-6、FS-7：別売）をつなぐと、メモリー（P.7）の切り替えができます。

→ フットスイッチに、その他の機能を割り当てることもできます。[外部フットスイッチの設定] (P.13)



マニュアル／メモリー・モード

マニュアル・モード

VE-8 を起動すると、パネルのつまみ位置に合わせて音色効果がかかるマニュアル・モードになります。

- ディスプレイにドットが表示されます。つまみを動かすと設定値を表示します。
- ペダルでエフェクトのオン／オフができます (青LED)。

ギター・コーラス
のオン／オフ

ハーモニーの
オン／オフ



- ➔ 電源投入時のモードは選ぶことができます。「スタートアップ・モード」(P.13)

メモリー・モード

[MEMORY] ボタンを押して赤色に点灯させると、メモリー・モードになります。エフェクトの組み合わせと設定 (音色) を 50 個の「メモリー」として保存／呼び出しができます。



2 つのペダルを同時に長押ししても、メモリー／マニュアル・モードを切り替えることができます。



- ディスプレイにメモリー番号が表示されます。
- ※ 設定を変更すると、ディスプレイにドットが表示されます。
- ペダルでメモリーの切り替えができます (赤 LED)。

メモリー番号 ▼ / ▲



ストップ・モード

メモリー・モードのときに、図の 2 つのペダルを同時押しするとストップ・モードになります。ペダルでエフェクトのオン／オフができます (青 LED)。

ギター・コーラス
のオン／オフ

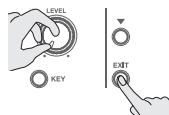
ハーモニーの
オン／オフ



- ➔ ストップ・モードでオン／オフするエフェクトを設定することができます (P.14)。

つまみ／ボタンの設定値の確認

- [EXIT] ボタンを押しながらつまみやボタンを操作することで、設定値を変更せずにディスプレイに設定値を表示させることができます。
 - メモリー・モードで設定 (音色) を呼び出したときは、設定値とつまみの位置が合いません。たとえば、つまみの設定値が 12 時の方向で、つまみの位置が左端にあった場合、つまみを回して 12 時を過ぎるまで設定値が変更されません。
- ※ 設定を変更すると、ディスプレイにドットが表示されます。



メモリーの保存

好みの設定を保存することができます。

1. [MEMORY] ボタンを長押しします。



ディスプレイに「Wr」(Write) と点滅表示されます。

2. もう一度、[MEMORY] ボタンを押します。
ディスプレイにメモリー・ナンバーが表示され、[MEMORY] ボタンが赤点滅します。
3. [▼] [▲] ボタンで、保存先のメモリー (1 ~ 50) を選びます。



- ※ キャンセルする場合は、[EXIT] ボタンを押します。

4. [MEMORY] ボタンを押します。

メモリーの初期化

現在選んでいるメモリーの設定を初期化します。

1. [MEMORY] ボタンを長押しします。
ディスプレイに「Wr」(Write) と点滅表示されます。
 2. [▲] ボタンを押して、「In」(Initialize) を選びます。
[MEMORY] ボタンが赤点滅します。
 3. [MEMORY] ボタンを押します。
- ※ キャンセルする場合は、[EXIT] ボタンを押します。

ノブ・ロック機能

ノブ・ロックをすると、つまみの操作ができなくなります。ステージなどで、誤って設定を変えてしまうことがありません。

1. [EXIT] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、ノブ・ロックのオン／オフが切り替わります。
ノブ・ロック中につまみを動かすと、画面に「Lc」と表示されます。

ギター・エフェクトの設定

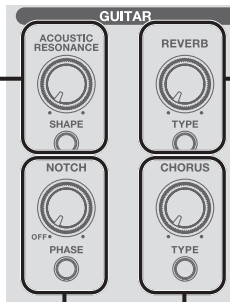
ACOUSTIC RESONANCE (アコースティック・レゾナンス)

アコースティック・ギターのボディの共鳴感をつまみで調節します。

[SHAPE] ボタン

使用するギターやセッティングに合わせて音色を補正します。

表示	ボタン	説明
oF	OFF	消灯 オフ
Wd	WIDE	緑 胸鳴りを響かせるふくよかな音色
ML	MILD	オレンジ 中音域を補正した明るい音色
br	BRIGHT	赤 高域まで響くつややかな音色



REVERB (リバーブ)

音に残響を加えます。

つまみでリバーブ・レベルを調節します。

[TYPE] ボタン

リバーブのタイプを切り替えます。

表示	ボタン	説明
oF	AMBIENCE	消灯 アンビエンス
rR	ROOM	緑 ルーム
h1	HALL 1	オレンジ 小ホール
h2	HALL 2	赤 大ホール

NOTCH (ノッチ)

ギターとアンプの位置や環境によって起こるハウリング（キーンという音）を抑えます。

[PHASE] ボタン

ハウリングが気になる場合は、最初に [PHASE] ボタンを押してください。位相を切り替えることでハウリングを抑えることができます。

[NOTCH] つまみ

[PHASE] ボタンをオンにしても効果がない場合は、[NOTCH] つまみの設定をします。

- ハウリングが発生している状態で、[NOTCH] (周波数) つまみを回しハウリングが低減する位置を探してください。
- つまみを右へ回すほど高音のハウリングを、左に回すほど低音のハウリングを低減させます。

CHORUS (コーラス)

コーラスなどのエフェクトを加えます。つまみでエフェクトのかかり具合を調節します。[CHORUS] ペダルでオン/オフします (P.7)。

[TYPE] ボタン

エフェクトのタイプを切り替えます。

表示	説明
Ch	CHORUS (コーラス) 微妙に揺れる音を加えて、広がりや厚みのある美しい音色に変えるエフェクトです。
Tr	TREMOLO (トレモロ) 音量を周期的にかえることで、レトロな効果が得られます。
Ph	PHASER (フェーザー) 位相をずらした音を加えて、音にうねりを与えるエフェクトです。
dL	DELAY (ディレイ) 音を遅らせて、山びこのような効果が得られます。
nd	MOD DELAY (モジュレーション・ディレイ) 心地よいゆらぎを加えたディレイです。
oL	OCTAVE (オクターブ) 1 オクターブ下の音や上の音を加えます。
SG	SLOW GEAR (スローギア) ボリューム奏法 (バイオリン奏法) の効果が得られます。
rR	RING MOD (リング・モジュレーター) 内部発振器とギターの音を掛け合わせて、音程感のない金属的な音に変えます。

ギターをチューニングする (チューナー)

- [CHORUS] ペダルを 2 秒以上押しします。

ギターがミュートされ、チューナーがオンになります。

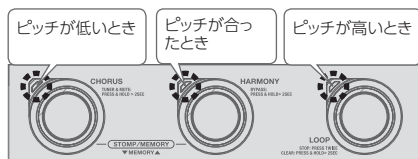
- 必要であれば、[▼] [▲] ボタンで基準ピッチを合わせます。

表示	ピッチ
35 ~ 45	435 ~ 445 (Hz) (初期値: 440Hz)

- チューニングする弦を、開放の単音で弾きます。
弾いた弦のピッチに近い音名がディスプレイに表示されます。

※ 表示例: (E) (C#) # 記号

- [HARMONY] ペダルが点灯するようにチューニングします。



- チューナーをオフにするには、ペダルのいずれかを押しします。

サブ・パラメーターの設定

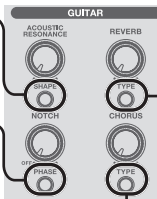
1. 以下のボタンを長押しします。

E9 (EQ)

アコースティック・
リゾナンスのイコ
ライザー

dt (DELAY TIME)

ディレイ使用時の
ディレイ・タイム
(下記参照)



tn (TONE)

リバーブ音の明
るさ

タイプ	パラメーター	説明
CHORUS TREMOLO PHASER	rt (RATE)	揺れの速さを設定します。
DELAY MOD DELAY	Fb (FEEDBACK)	ディレイの繰り返し回数を設定しま す。
OCTAVE	Uo (VOICE)	エフェクト音の重ねかたを設定しま す。 - 1 (1 オクターブ下) 1 (1 オクターブ上) 1d (1 オクターブ上 + デチューン)
SLOW GEAR	Rt (ATTACK)	音量が最大になるまでの時間を設定 します。
RING MOD	bL (BALANCE)	ダイレクト音とエフェクト音のパラン スを調節します。

2. [▼] [▲] ボタンで、値を選びます。

3. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

ディレイ・タイムの設定 (タップ・テンポ)

演奏テンポに合わせてボタン／外部フットスイッチを押すことにより、演奏テンポに対して付点 8 分音符または 4 分音符のディレイ・タイムが設定できます。

→ 外部フットスイッチでタップ・テンポする場合は、「外部フットスイッチの設定」(P.13) を以下の値に設定してください。

パラメーター	値	説明
E1, E2	14	TAP TEMPO

1. CHORUS [TYPE] ボタンで、[dL] (DELAY) または [rd] (MOD DELAY) を選びます。

2. [PHASE] ボタンを長押しします。

3. [MEMORY] ボタンを押して、設定するパラメーター (表参照) を選びます。

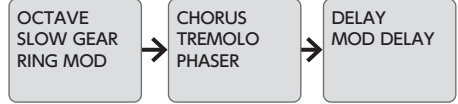
4. [▼] [▲] ボタンで値を選びます。

パラメーター	値	説明
dt (DELAY TIME)		ディレイ・タイム (10 ~ 990ms) を設定します。 曲のテンポに合わせて [PHASE] ボタンを 2 回以上押すことでディレイ・タイムを設定することもできます (タップ・テンポ)。 ※ BPM は表示されません。
tn (NOTE)		ディレイの音の長さ (ノート) を設定します。
	d	♪ (4 分音譜)
	d.7	♪ (付点 8 分音譜)

5. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

複数のエフェクトを同時使用する

CHORUS セクションのエフェクトは、最大 3 種類を同時使用することができます。



※ 各グループのうち 1 つを選択可能。

1. CHORUS [TYPE] ボタンを長押しします。

サブ・パラメーターの設定モードになります。



2. [MEMORY] ボタンを長押しします。

エフェクト ON / OFF の設定モードになります。

メモ

CHORUS [TYPE] ボタンを長押ししても、エフェクト ON / OFF の設定モードになります。

3. [MEMORY] ボタンを押して、設定するエフェクトを選びます。

ボタンを押すたびに、以下のように切り替わります。

Ch	CHORUS	rd	MOD DELAY
tr	TREMOLO	oL	OCTAVE
Ph	PHASER	SL	SLOW GEAR
dL	DELAY	rl	RING MOD

4. [▼] [▲] ボタンで、オフ (O) / オン (I) を設定します。



5. 手順 3 ~ 4 を繰り返します。

6. CHORUS [TYPE] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

※ 設定をキャンセル (エフェクトを 1 個のみに) する場合は、[EXIT] ボタンを押します。

[CHORUS] つまみの対象



複数のエフェクトがオンの場合は、[CHORUS] つまみの対象になるエフェクトを、CHORUS [TYPE] ボタンを押して切り替えることができます。

ボーカル・エフェクトの設定

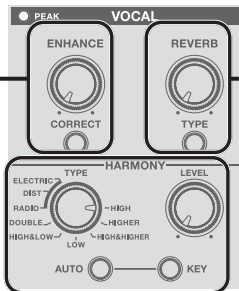
ENHANCE (エンハンス)

声の輪郭をはっきりさせるために、入力音量のばらつきを補正します。

[CORRECT] ボタン

正確なハーモニーを得るためにピッチのばらつきを補正して、ハーモニーの精度を向上させます。

表示	ボタン	説明
oF	OFF	消灯 オフ
5t	SOFT	緑 補正弱
hd	HARD	赤 補正強



REVERB (リバーブ)

音に残響を加えます。

つまみでリバーブ・レベルを調節します。

[TYPE] ボタン

リバーブのタイプを切り替えます。

表示	ボタン	説明
Rn	AMBIENCE	消灯 アンビエンス
rR	ROOM	緑 ルーム
h1	HALL 1	オレンジ 小ホール
h2	HALL 2	赤 大ホール

HARMONY (ハーモニー)

あなたの声に自然なハーモニー (ハモリ) を加えることができます。ハーモニーは [HARMONY] ペダルでオン/オフします (P.7)。



[TYPE] つまみ

ハーモニーのタイプを切り替えます。

タイプ	説明
ボーカル・エフェクト	
ELECTRIC (エレクトリック)	ポップ・ミュージックで注目を集めている、機械的にピッチを変化するサウンド
DIST (ディストーション)	ボーカル用ディストーション・サウンド
RADIO (ラジオ)	ラジオ・ボイス・サウンド
ハーモニー	
HIGH	設定に応じて、1～2声で自然なハーモニー (ハモリ) を加えます。
HIGHER	
HIGH & HIGHER	
LOW	
HIGH & LOW	レコーディングの際に同じ人が同じメロディを重ねて録音し、声に厚みを与えるダブル効果を再現します。
DOUBLE (ダブル)	

[LEVEL] つまみ

ハーモニーの音量/エフェクトのパラメーターを調節します。

タイプ	説明
ELECTRIC	ピッチ変化のしやすさ
DIST	歪みの量
RADIO	ラジオ・ボイスの音量
ハーモニー	ハーモニーの音量

曲のキー (調) を設定する

[AUTO] ボタン (自動設定)

[AUTO] ボタンをオンにすると、接続したギターで演奏したコードとコード進行によって自動でキーが設定されます。

※ ギターの弾き語りをするときは、FULL から試して、期待どおりのハーモニーが得られない場合に HYBRID を使用してください。ギターを使用しない場合は、OFF にしてキーを設定してください。

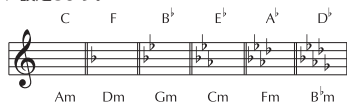
表示	ボタン	説明
oF	OFF	消灯 [KEY] ボタンで設定したキーに合わせてハーモニーが加わります。
FL	FULL	赤 ギターで演奏したコードとコード進行によってハーモニーが加わります。
hb	HYBRID	緑 [KEY] ボタンで設定したキーと、ギターで演奏したコードによってハーモニーが加わります。

[KEY] ボタン (キーの手動設定)

1. [KEY] ボタンを押して、キーを設定します。

※ 表示例: (F#) **F#** # 記号 (Eb) **Eb** b 記号

※ 下図を参考にして、歌う曲のキー (調) を設定します。
(例) A マイナーの曲を歌う場合は、キーを平行調の [C] に設定します。

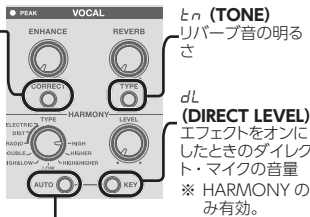


※ ボーカル・エフェクトで TYPE が ELECTRIC のときは、キーをクロマチック [Ch] に設定することもできます。

サブ・パラメーターの設定

1. 以下のボタンを長押しします。

Ed (GENDER)
ーにするほど男性的な声質に、+にするほど女性的な声質に変化します。
※ [CORRECT] ボタン点灯時のみ有効。



tn (TONE)
リバーブ音の明るさ

dL (DIRECT LEVEL)
エフェクトをオンにしたときのダイレクト・マイクの音量
※ HARMONY のみ有効。

タイプ	パラメーター	説明
ELECTRIC	SP (SPEED)	ピッチ変化の速さを調節します。値が大きいくほど速くなります。
DIST RADIO	tn (TONE)	音の明るさ
ハーモニー	RL (ACCURATE)	値を大きくするほど、ハーモニーのピッチを元のボーカルのピッチに合わせます。初期値 (10) ではハーモニーは正確なピッチで鳴るため、元のボーカルのピッチが正確でない場合はうまくハモって聞こえないことがあります。そのようなときは、この値を小さくしてみてください。

2. [▼] [▲] ボタンで、値を選びます。

3. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

ボーカルのバイパス

MC のときなど、ボーカルのすべてのエフェクトを切ることができます (バイパス)。

1. [HARMONY] ペダルを 2 秒以上押しします。

[HARMONY] ペダルが点滅し、ボーカルがバイパスになります。



2. バイパスをオフにするには、ペダルのいずれかを押します。

複数のエフェクトを同時使用する

VOCAL セクションのエフェクトは、最大 3 種類を同時使用することができます。



※ DIST、RADIO のうち 1 つを選択可能。

1. [AUTO] ボタンを長押しします。

サブ・パラメーターの設定モードになります。



2. [MEMORY] ボタンを長押しします。

エフェクト ON / OFF の設定モードになります。

[AUTO] ボタンを長押ししても、エフェクト ON / OFF の設定モードになります。

3. [MEMORY] ボタンを押して、設定するエフェクトを選びます。

ボタンを押すたびに、以下のように切り替わりします。

h	HIGH	db	DOUBLE
hr	HIGHER	rr	RADIO
hh	HIGH & HIGHER	ds	DIST
l	LOW	el	ELECTRIC
hl	HIGH & LOW		

4. [▼] [▲] ボタンで、オフ (□) / オン (■) を設定します。



5. 手順 3 ~ 4 を繰り返します。

6. [AUTO] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

※ 設定をキャンセル (エフェクトを 1 個のみに) する場合は、[EXIT] ボタンを押します。

HARMONY [LEVEL] つまみの対象



複数のエフェクトがオンの場合は、HARMONY [LEVEL] つまみの対象になるエフェクトを、HARMONY [TYPE] つまみで切り替えることができます。

ルーパー

[LOOP] ペダルの操作で、ボーカル／ギターを個別に録音してループ・パフォーマンスすることができます。



録音

[LOOP] ペダルを踏むと、すぐに録音がスタートします。
ループしたいところでペダルを踏むと、再生に切り替わります。



ループ再生

ループ再生します。
[LOOP] ペダルを踏むとオーバー・ダビングに切り替わります。



オーバー・ダビング

ループ再生しながら演奏を重ねて録音します。
[LOOP] ペダルを踏むと再生に切り替わります。

停止／クリア

2 回踏む



[LOOP] ペダルを 2 回踏むと停止します。
停止中に [LOOP] ペダルを 2 秒以上踏むとフレーズをクリアします。

録音パート（ギター、ボーカル）の選択

[LOOP] ボタンを点灯したパート（ギター、ボーカル）が録音されます。



録音パートは、外部フットスイッチで切り替えることもできます。

→「外部フットスイッチの設定」(P.13)

パラメーター	値	説明
[1], [2]	4	LOOPER SOURCE

ループ再生レベルの設定

再生レベルを 50（初期値）に設定すると、演奏している音量とループ再生の音量が同じになります。

再生レベルを 50 よりも小さい値に設定すると、演奏している音量よりも小さな音量で再生されます。これにより、録音を重ねていったときに、ループ再生音によって演奏している音が埋もれるのを防ぐことができます。

1. 再生レベルを設定するパート（ギター、ボーカル）の [LOOP] ボタンを長押しします。



2. [▼] [▲] ボタンで、再生レベルを設定します。

3. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

[LOOP] ペダルの色

色	状態
赤	録音
青	再生
紫	オーバー・ダビング
青（点滅）	停止（フリーズあり）
消灯	停止（フリーズなし）

外部フットスイッチで停止する

外部フットスイッチを 1 回踏むだけで停止させることができます。

→「外部フットスイッチの設定」(P.13)

パラメーター	値	説明
[1], [2]	3	LOOP STOP (HOLD : CLEAR)

録音→再生→オーバーダビングの切り替え順を変更

→「ルーラーの設定」(P.13)

メモ

※ 録音時間は 80 秒です。

※ 録音した内容は、電源を切ると失われます。

進んだ使いかた

工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)

VE-8 の設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. (GUITAR) REVERB [TYPE] と CHORUS [TYPE] ボタンを押しながら電源を入れます。



ディスプレイに「F_r」と表示され、[MEMORY] ボタンが点滅します。

※ ファクトリー・リセットをキャンセルする場合は、電源を切りま

2. [MEMORY] ボタンを押します。

ディスプレイが点滅し、ファクトリー・リセットが実行されます。

※ ファクトリー・リセットの実行中は、絶対に電源を切らないでく

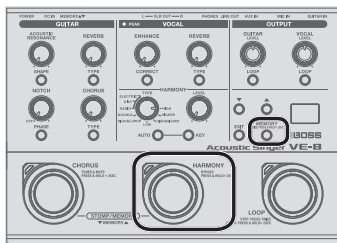
3. 「oE」 と表示されたら、電源をオフにします。

システム設定

VE-8 全体の設定を「システム設定」と呼びます。

1. [MEMORY] ボタンを押しながら [HARMONY] ペダルを押します。

[MEMORY] ボタンと [HARMONY] ペダルが赤色に点灯し、システム設定モードになります。



2. [MEMORY] ボタンを押して、設定するパラメーター (表参照) を選びます。

メモ

[EXIT] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押すと前のパラメーターに戻ることができます。

3. [▼] [▲] ボタンで値を選びます。

4. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

パラメーター	値	説明
外部フットスイッチの設定		
		MEMORY ▲▼ 端子に接続した外部フットスイッチ (C1、C2) の動作を設定します。 ▶ 「フットスイッチをつなぐ」 (P.6)
	1	MEMORY ▲ (C1 : 初期値)
	2	MEMORY ▼ (C2 : 初期値)
	3	LOOP STOP (HOLD : CLEAR)
	4	LOOPER SOURCE
	5	GUITAR ACOUSTIC RESONANCE SW
	6	GUITAR CHORUS (EFFECT) SW
	7	GUITAR REVERB SW
	8	VOCAL ENHANCE SW
	9	VOCAL HARMONY (EFFECT) SW
	10	VOCAL REVERB SW
	11	KEY UP
	12	KEY DOWN
	13	MEMORY/MANUAL
	14	TAP TEMPO
	15	TUNER ON/OFF
ペダルの設定		
1N (C1 Mode)		ペダルを押したときの動作を設定します。
2N (C2 Mode)	1	MOMENTARY ペダルを踏んでいる間だけ設定した効果が有効になります。
LP (CHORUS)		
hP (HARMONY)	2	TOGGLE ペダルを踏むごとに効果が切り替わりま
		す。(初期値)
MEMORY ペダルのホールド設定		
		初期値では、MEMORY ▲▼ ペダルを長押し
hP (MEMORY Pedal)		すると、チューナーやバイパスになりますが、
		メモリー番号を連続して切り替えることがで
		ます。
	0	チューナー、バイパス (初期値)
	1	メモリー番号の連続切り替え
ルーパーの設定		
		ルーパーの切り替え順序を設定します。
LP (LOOP)	1	録音→再生→オーバーダビングの順に切り
		替わります。(初期値)
	2	録音→オーバーダビング→再生の順に切り
		替わります。
NOTCH / PHASE 設定		
hP (NOTCH/ PHASE)		メモリー切り替え後も NOTCH / PHASE 設
		定を保持したい場合は、「2 (SYSTEM)」に
		設定してください。
	1	MEMORY (初期値)
	2	SYSTEM
スタートアップ・モード		
		電源投入時のモードを選びます。
5N (Startup Mode)	1	マニュアル・モード (初期値)
	2	メモリー・モード
	3	メモリー・ストップ・モード

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

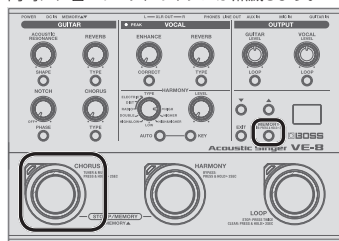
パラメーター	値	説明
オート・オフの設定		
Ro (Auto Off)		本機は、演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。
	※	自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を「0」(OFF) にしてください。
	0	電源が切れません。
	1	10 時間経過すると自動的に電源が切れます。(初期値)

ストップ・ペダルの設定

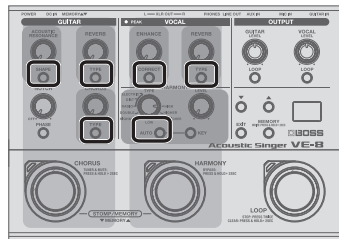
マニュアル/ストップ・モード (P.7) でペダルを踏んだとき、どのエフェクトをオン/オフするかをメモリーごとに設定することができます。

1. [MEMORY] ボタンを押しながら [CHORUS] ペダルを押します。

[MEMORY] ボタンと [CHORUS] ペダルが赤色に点灯し、ストップ・ペダルの設定モードになります。同時に、各エフェクトのボタンが点滅します。



2. 「ストップ・ペダルでオン/オフしたいエフェクトのボタン」を点灯させます。



3. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

メモリー/ストップ・モードの場合

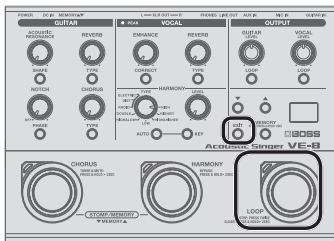
4. 「メモリーの保存」(P.7) の手順で設定を保存します。

EQ / ノイズ・サプレッサーの設定

マイクやギターの特性に合わせて、EQ (イコライザー) の設定ができます。

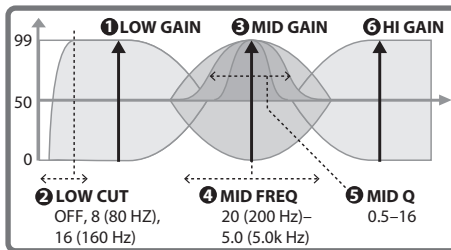
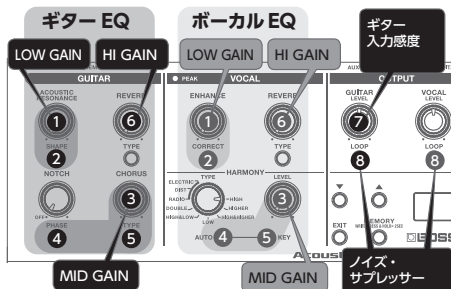
1. [EXIT] ボタンを押しながら [LOOP] ペダルを押します。

[LOOP] ペダルが紫色に点灯し、EQ の設定モードになります。



2. ①～③ (図参照) で値を設定します。

- つまみ: つまみを回して値を設定
- ボタン: ボタンを押してから [▼] [▲] ボタンで値を設定



- ⑦ ギター入力感度 (0 ~ 50 ~ 99)

- ⑧ ノイズ・サプレッサー (ギター/マイク)

ノイズやハムを抑えます (0 ~ 50)。

3. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

EQ の設定を初期値に戻す

EQ の設定モードで [MEMORY] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、EQ の設定を初期値に戻すことができます。

主な仕様

ボス VE-8 : アコースティック・シンガー

電源	AC アダプター (PSA-S シリーズ)、アルカリ電池 (単 3 形×6)
消費電流	360mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池 : 約 4.5 時間 (ファンタム電源: オフ) 約 2.5 時間 (ファンタム電源: オン) 使用状態によって異なります。
外形寸法	217 (幅) 161 (奥行) 65 (高さ) mm
質量	1.3kg (電池含む)
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、AC アダプター: PSA-100S
別売品	フットスイッチ: FS-5U デュアル・フットスイッチ: FS-6、FS-7

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.14)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



⚠ 注意

ファンタム電源の取り扱いについて

ファンタム電源供給の必要なコンデンサー・マイクを接続したとき以外は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。



(本機のファンタム電源: DC 48V、10mA Max)

使用上のご注意

電池について

- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.15) に記載の記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- ACアダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。
- 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー一部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 第三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標または登録商標です。
- 文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。

エラー・メッセージ

表示	説明
bと	電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

トラブルシューティング

問題	確認事項	対処
ディスプレイに「bと」と表示される	電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。	
電池がすぐになくなる	マンガン電池を使用していませんか？	アルカリ電池を使用してください。
	ファンタム電源を使用していませんか？	ファンタム電源を使用すると電池の消耗が早くなります。ファンタム電源が不要のダイナミック・マイクか、AC アダプターを利用すると良いでしょう (P.2)。
音が出ない／小さい	アウトプットの設定が正しいですか？ XLR 端子、LINE 端子の設定によっては、端子からギター／マイクの音が出ません。 「USB ダイレクト・アウト」がオフになっていると、OUTPUT 端子から音が出ません。	「アウトプットの設定」(P.5)を確認してください。
	他の機器と正しく接続されていますか？	接続をもう一度確認してください (P.3)。
	接続しているミキサー、レコーダーなどのボリュームが下がっていませんか？	接続機器の設定を確認してください。
OUTPUT 端子からリバーブ音が出力されない	アウトプットの設定が正しいですか？	「リバーブを PA に送りたい場合」(P.5)の設定を確認してください。
マイクの音が小さい／音が割れる	[MIC SENS] つまみの設定は適切ですか？ PEAK ランプが赤色に点灯している場合は、入力レベルが大きすぎます。	適切な値に調節してください (P.2)。
	[PHANTOM] スイッチが「OFF」になっていませんか？	ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを使用する場合は、[PHANTOM] スイッチを ON にしてください (P.2)。
	MIC INPUT 端子に他のエフェクターからの出力を接続していませんか？	マイクを直接接続してください。
AUTO に設定したハーモニーの音がおかしい (コードが検出できていない)	GUIAR INPUT 端子に他のエフェクターからの出力を接続していませんか？ 他のエフェクターを使用すると、コードを検出できないことがあります。	ギターを直接接続してください。